



議会だより

2019 **1** No.49

発行/宮崎県美郷町議会
編集/議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

新しい力で築くオンリーワンのまち



中村 心美さん(北郷)
将来は保育士になりたいです。



松尾 ヤエノさん(南郷)
水清谷を拠点に日本舞踊を60年
余にわたり教え、現役活躍中です。



菅原 亮さん(南郷)
長野県から家族5名で移住して2年。
渡川で山師として頑張っています。



坂口 美由紀さん・祐司さん
(西郷)
ミニトマト農家として日々勉強して
います。



梅田 秀平さん(北郷)
子育てのしやすい環境の町にして
ほしいです。



黒木 偉智さん・磯世香さん
(西郷)
御大師豆腐づくりに情熱を注いで
います。



黒田 鶴子さん(南郷)
鬼神野にある唯一の商店、黒田商
店のマドンナです。



奈須 久美子さん(西郷)
狩りガールとして奮闘しています。



阿部 昭悟さん(北郷)
若者の住みやすい町になることを
期待しています。



奈須 峰子さん・美雪さん・
天莉さん(西郷)
一家で牛の飼育をがんばっています。



甲斐 久光さん(北郷)
子どもからお年寄りまで笑顔の絶
えない町づくりしてほしいです。



椿原 遼さん(北郷)
五十鈴川でまた大物を釣って、海
ではイカを釣りたいです。



溝脇 次吉さん(南郷)
グランドゴルフの最高齢のメン
バーですが、がんばっています。



柳澤 沙織さん・彩雪さん・
咲空さん(西郷)
Uターンし、果樹園をしています。



木原 健太さん(南郷)
山師に転職してちょうど一年。
現在厳しい修行中です。

目次

- 議長 新年の挨拶
議会改革を一步ずつ!2P
- 国道388号 整備進む!!3P
- 第3回臨時会 第4回定例会4~5P
- 町政を問う!~第4回定例会~6~9P

- 委員会活動
議員のひと言コーナー10~11P
- 議会トピックス
編集後記12P

年頭のご挨拶



謹んで新春のご祝詞を申し上げます

美郷町議会議長 甲斐 秀徳

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は、日本国内では大阪地震や西日本豪雨など自然災害の多い1年でありました。幸いにも本町においては、自然災害の人的被害はなかったものの、防災の重要性を改めて感じたところでありました。

一方で本町においては、第36回宮崎県消防操法大会の積載車の部で南郷分団第6部が優勝するなど、本町消防団の活躍に頼もしさを感じました。また、町内では移住定住の促進を図るため、旧黒木小学校と石峠レイクランド施設を活用した「お試し滞在宿泊施設」がオープンし、移住定住者の増加が期待されるところです。

町議会といたしましては、昨年引き続き、議会改革を協議する場として「議会改革等調査特別委員会」を設置しております。議員数は12名から11名に減っていますが、住民の皆様が開かれた議会を目指し、広報モニターの設置や住民との意見交換会、議員研修への積極的な参加を行うなど日々活動しております。

これからも、住民の皆様へ寄り添った議会であるよう日々努力して参る所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

2019年が皆様にとって輝かしい年であり、平和な年であり、ますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



議会改革を一步ずつ！



①議員間討議を行いました！

今回、初めて議員同士での討議（議員間討議）を試行的に行いました。今までは、ある問題や議案に対して個人間での意見交換は行っていたものの、議員全員で討議することはありませんでした。また、議会においては賛成・反対の結論が出されますが、結果に至るまでの協議の過程をより重要視する狙いもあります。全員で討議することにより、様々な問題点をみつけ、より議論を深められる糸口になると考えます。今後も継続的に行います。



②広報モニターとの意見交換会

12月14日（金）役場委員会室で議会広報モニターとの意見交換を行いました。会では、モニターの方から議会だよりの改善点や、どうしたら多くの人に読んでもらえるかなど、貴重なご意見をいただきました。今後、いただいた意見を参考に、充実した議会だよりのづくりを目指します。



③商工会理事との意見交換会

10月23日（火）西郷商工会で商工会理事との意見交換会を行い、今、商工業が抱えている様々な問題を伺いました。美郷町商工業振興のため、現在、抱えている課題、現状、要望など、理事からの生の声を聞く大変貴重な会でした。



国道388号 整備進む!!

国道388号 美郷町黒木～門川町庭谷 整備一歩進む 県公共事業評価委員会において平成31年度新規着手で了承

宮崎県公共事業評価委員会が12月25日に開催され、「一般国道388号松瀬工区（美郷町境～門川町庭谷）」について、平成31年度に新規着手することが了承されました。

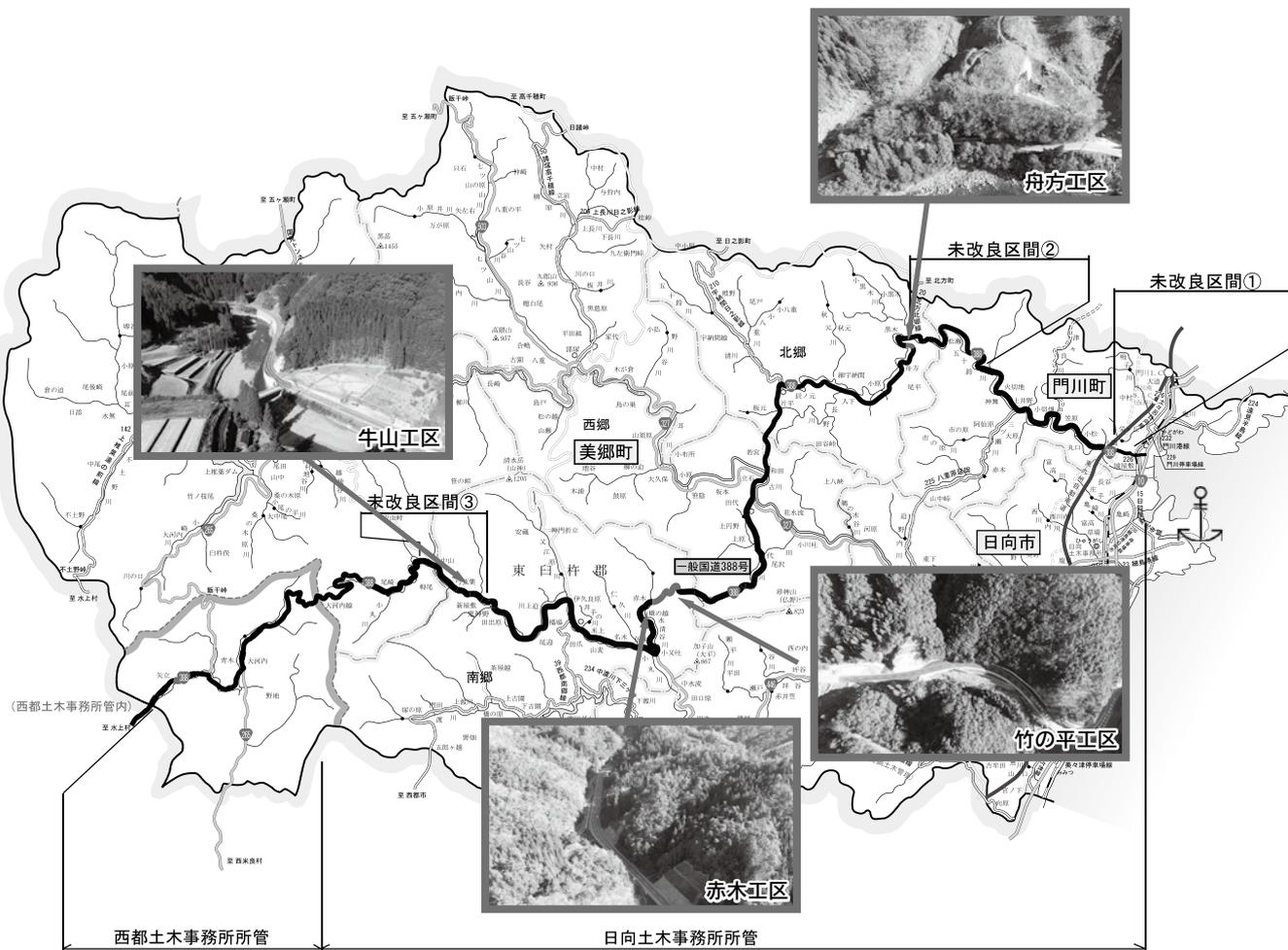
全体計画では美郷町北郷黒木～門川町庭谷の5.8kmを整備する方針ですが、今回は松瀬工区として町境～門川町庭谷までの3.9kmが優先的に整備される予定。平成31年度から平成38年度を計画期間として、トンネルや橋梁を含むバイパスが整備される予定で、悲願だった区間の整備にむけて進み始めました。

現在は数ヶ所で改良が進んでいますが、さらに黒木～庭谷間の整備が進むことにより、町民の利便性向上はもちろん、農林業や商工業の発展、医療体制の充実にも大きな期待が寄せられます。

今後、着実に事業が実施されるよう、議会、町、国道388号整備促進期成同盟会等々、一丸となって要望活動を行います。

公共事業評価：公共事業の実施個所において、その必要性と効果について客観的な評価を行い、効率的・効果的な社会資本整備の実現を図るもの。

【整備の進む国道388号 平成31年1月時点】



第3回臨時会 台風災害に係る修繕・復旧費の補正予算を可決

平成30年第3回臨時会が、10月26日に開催されました。

平成30年度一般会計補正予算が提案され、3,286万円の補正予算が全員一致で可決されました。また、林道宇目・須木線の災害復旧工事請負契約の変更に関する議案も全会一致で可決されました。

(主な計上事業) ※単位は万単位で四捨五入しています。

◆農林水産業費

①ハウス(金柑)災害復旧補助金……………113万円

②6次産業化基本構想策定支援業務委託料……72万円

◆土木費

町道の維持管理費……………600万円

◆災害復旧費

林道宇目・須木線災害復旧費……………1,500万円 等



林道宇目・須木線の工事現場

第4回定例会

教育長 大坪隆昭さんの任命に同意 教育委員の上村かおりさんの任命に同意 民間事業者が北の郷・地蔵の里の指定管理者に

平成30年第4回定例会が、12月5日から11日までの7日間、開催されました。

教育長、教育委員の人事案件のほか、公の施設の指定管理者の変更等についての議案や、各補正予算等が上程されました。

議案番号	件名	議決結果	議決年月日
同意第5号	美郷町教育長の任命について	原案同意	平成30年12月5日
同意第6号	美郷町教育委員会委員の任命について	原案同意	平成30年12月5日
議案第81号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定について	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第82号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定について	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第83号	美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第84号	町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第85号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第86号	美郷町営賃貸住宅条例の一部を改正する条例	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第87号	平成30年度美郷町一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第88号	平成30年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第89号	平成30年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第90号	平成30年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第91号	平成30年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日
議案第92号	平成30年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決 (全員一致)	平成30年12月11日

議案の主な内容

◎教育長・教育委員の任命について

教育長：大坪隆昭さん

任期：2019年2月21日から
2022年2月20日までの
3年間

教育委員：上村かおりさん（北郷）

任期：2019年2月21日から
2023年2月20日までの
4年間

任期：教育長（3年）、教育委員（4年）



大坪 隆昭さん



上村かおりさん

◎公の施設の指定管理について

指定管理施設：●北郷農産物処理加工施設「北の郷」 ●売店「地蔵の里」

指定期間：2019年4月1日～2022年3月31日までの3年間

指定管理者：株式会社北部産業開発



北の郷



地蔵の里

直売所2施設については、特産品販売等の拠点施設であり、今後は、民間企業の活力が十分に発揮され、より良い管理運営が期待されます。

◎特別職や議会議員、一般職の給与改定について

法律改正や国・県の人事院勧告等を受けての改正

●町長・副町長・教育長・議会議員

期末手当（年間比較）

0.05月増

●一般職

・給料表 平均0.2%増の改定

・期末勤勉手当（年間比較）

0.05月増

一般会計補正予算額 2億6,702万円

教育委員会移転に伴うニューホープセンター改修 1,069万円

（一般会計補正予算における主な計上事業） ※単位は万単位で四捨五入しています。

◆総務費

①機構再編に伴う本庁舎・附属棟の改修 197万円

②台風等の被害による光ケーブル復旧費用 427万円

◆農林水産業費

①国県補助金削減による地籍調査委託料の減額 △3,041万円

②農産物6次産業化基本構想の策定検討組織に関する費用 52万円

◆災害復旧費

①林道災害復旧 1億3,590万円

②農地農業用施設災害復旧（補助） 1,550万円

◆教育費

①教育委員会移転に伴うニューホープセンター改修工事 1,069万円



災害復旧現場



改修予定のニューホープセンター

町政を問う

一般質問

一般質問では、議員が本会議で町政全般にわたり、町長等の執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針等について質問します。

本町議会では一問一答方式で、議員ひとりの持ち時間は40分です。

平成30年第4回定例会の一般質問は、12月5日から11日までの7日間の日程で行われ、7名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は、次のとおりです。

空家対策事業等について



園田 義彦 議員

【問】町の人口減少が続く中において活力ある地域づくりの為、公営町営住宅の整備が必要と思われる。一方で年々増えている空き家も長年放置しているといずれ廃屋となり、町の景観を損なう結果になることも予想される。現在の空家対策支援事業の補助金の増額で人口対策と美しい故郷づくりに取り組む必要があると思われるが考えを伺う。

【町長】補助金の増額については、一般住宅建築支援事業との兼ね合いもあり、困難ではないかとも考えられるが、移住定住の促進及び美郷町の景観づくり等から考えらる。今後の財政等を含め半年くらいで方向性を示したい。



増加する空家

AI・IOT

町の取り組みは



黒田 仁志 議員

本町のAI(エーアイ※注①)、IOT(アイオーティー※注②)化について

【問】上白石萌音(かみしらいしも

ね)さんが出演していることでも話題の政府広CM「Society5.0」(※注③)に出ているのは、大都会ではなく地方都市である。こういったモデル事業を積極的に誘致する方向で動けないか伺う。

【町長】国の政策にしっかりとアンテナを張り対応していく。専門的職員の配置が無理であれば、民間との連携も考慮したい。

【問】AI・IOTは農林業の担い手不足解消の解決策の一つになりうる。そのためには、必要なのは携帯の電波がまんべんなく入ることも重要、森林環境譲与税で、アンテナ整備ができないか。

【町長】民間事業者の自助努力に期待したい。森林環境譲与税は山に使用したい。IOTについては林業大学校の指導内容にも注視したい。

小規模バイオマス(※注④)発電所の建設について

【問】本町でも、大規模なバイオマス発電所への専門業者による出荷は盛んになってきた。しかし、登録制度の問題などで、自伐林家が出荷することは難しい。一方、林内に残る枝条が、かたまって放置される問題も発生してきている。

専門業者のこの枝条問題、自伐林家のバイオマス出荷問題を解決するために、2000キロワット未満の小規模バイオマス発電所を建設してはどうか伺う。

【町長】供給量が心配。現実的に、小規模バイオマスでいいのかもしれない。第3セクターではあまり考えたくない。前向きに精査はしていく。

用語解説

注① AI
・人工知能

注② IOT
・「物のインターネット」物がインターネット経由で通信すること。

注③ Society5.0
(ソサエティ5.0)
・狩猟者会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな経済社会(5番目の社会)

注④ バイオマス
・バイオマスとは「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」で、食品廃棄物や下水汚泥、林地残材などがある。

青少年交流事業の統一は



森田 久寛 議員

青少年派遣交流事業について

【問】合併前から、旧村毎に実施されている交流事業を町内小中学生をまとめて同じ派遣交流事業として実施すべきと思うが、考えを伺う。

【教育長】歴史的背景があること、姉妹校としての交流等、合同実施は難しい面もあるが、参加人数の減少や財政上の課題もあり、再考の時期を迎えている。修学旅行での実施ができないか協議しているところ。事業の趣旨や費用対効果等を再確認しながら改めて検討していく。



美郷町の青少年派遣交流の現状

●日韓親善交流事業 美郷南学園の7年生が訪韓を行い、扶余邑の中学校と交流事業を行っている。

●豊見城市交流事業 田代小学校・美郷北学園の5年生が姉妹都市・美郷北学園を訪問し、育成会児童との交流事業を行っている。

田代小、西郷中学校の小中一貫校開校に向けての進捗状況について
【問】開校予定年度、スケジュール等について伺う。

【教育長】平成33年度4月に開校を予定しているところだ。それまでに基本設計に学校と地域の意見が反映できるように建設検討委員会を立ち上げ、月一回のペースで来年2月まで開催する計画だ。平成31年度にプール改修工事を実施し、32年に新校舎及び給食施設の建築を行う予定だ。

林業大学校の開講について

【問】開講にあたり、本町ができる協力体制など、県との話し合いがどのようになっているのか伺う。

【町長】林業大学校への支援として、町営住宅等の斡旋、林業実習

フィードルの提供、地元素材生産業者への指導者としての人的な協力、就業先を考慮したインターンシップの受入れ等、林業大学校の地元であることを十分に活かした支援を考えている。

住民の交通手段の確保を



山田 恭一郎 議員

コミュニティバスの充実について

【問】南郷と西郷との美郷トンネルの周辺道路が完成すると南郷・西郷・北郷が二車線道路でつながる。高齢者の通院はもとより、地域間交流、買物など日々の生活の利便性向上のために、美郷町全域が繋がるコミュニティバスの充実と運用回数の増便が必要ではないか伺う。

【町長】交通手段を集約して機能性を発揮させる指示を出している。交通手段の利便性の向上は高齢者の引きこもり対策としても有効な手段だと思っている。ある程度満

たされる地域間交通の編成は必要だと考えている。



支所の縮小は十分な説明がなされたか



山本 文男 議員

支所の縮小について

【問】北郷内で機構再編の説明があったのは入下区だけで、支所を縮小される側の住民の気持ちがかかっていない。要望があれば説明

に行くが、なければ行かないというのは行政の上から目線の対応だと思われる。全区平等に説明すべきだったのでは何う。

【町長】懇切丁寧な説明をする時間をとらなかつたという批判は真摯に受け止める。

【問】職員の減少で大きな痛みを受ける商店への対応は。

【町長】昼食を提供する店に影響が出ることは認めざるを得ない。商工会をもち上げるため地産地消を働きかけたい。

【問】支所には広いスペースが残る。何かに利用する考えはあるか何う。

【町長】北郷でいえば農協の金融とかが入つたりできないかなど考えている。コンパクトにしてそこですべての用事が終わるような形にしたい。住民みんなで検討したい。

【問】職員の上から目線の対応に不満を持つ住民はあいかわらず多い。仕事着のまま、地下足袋をはいたまま相談できるような雰囲気のある支所であり本所であつてほしいという住民の声を多く聞くがいかか。

【町長】最初自分でも役場の雰囲気重苦しく感じた。住民と対等な目線を持つて寄り添う職員をつくつていき、職員の資質向上を行いたい。



来年実施の機構再編支所はどうなるか



那須 富重 議員

機構改革について

【問】平成31年4月1日に行行政組織の機構再編が予定されている。支所の各担当課はどのように配置されるのか何う。

【町長】現在8つの課がある。これをもつにまとめて管理職を一人置き、仮称だが窓口課を置き、難しい問題は本所に上げるといふ形で支所機能がこれまで通り機能するようにする。

【問】機構再編計画は現時点で町民に受け入れられていると考えるか何う。

【町長】総論賛成、各論反対ということもあるが、大方、同意を得ていると判断している。

【問】機構再編施行後、問題が提起された場合、職員の配置を見直すことがあるか、又元に戻すことも考えられるか何う。

【町長】元に戻すことは考えていない。不具合が生じることは覚悟の上だが、その時は精査して修正して行く。

町の行事について

【問】人口が減り、職員も減つていく中では広く浅くより、町の為には、より効果的な行事に的を絞つて事を進めていく必要があると考えるが如何か。

【町長】現在、町が関与する行事は年に51有る。三大祭りなど古の文

化は町民の絆になる。町としてもサポートしてつなげて行く必要が有ると考える。

【問】結果に通じない努力は見極めるべきとの観点から、町内の行事の精査をする必要が有ると考えるが如何か。

【町長】やっているからやり続けているというようないふ事は目的と効果を精査して行く必要があると考える。

町内の漁業について

【問】町内の河川のアユ、ハエなどの小魚に至るまで激減しており、対策を求められている。特にカワウ対策に取り組んで如何か伺う。

【町長】小丸川、五十鈴川は清流が守られている、美郷のPRにもなるので県と歩調を合わせ、カワウ対策は積極的にやっています。



深刻なカワウ被害

カワウ被害

カワウは、全国的にねぐら（夜間の休息場）やコロニー（繁殖場）の数が増加し、水産資源の捕食による被害が増加しており、本県においても銃器による駆除や花火による追い払い等の活動が実施されていますが、十分な被害の減少には繋がっていません。（宮崎県内水面漁業活性化計画（平成二十九年九月一日宮崎県）より）

和牛（黒毛和牛）増頭の取り組みは



川村 嘉彦 議員

【問】和牛の新規飼育には母牛の高騰、又施設の建設など高額な資金が必要だ。町又は第三セクターを作って貸し出すことはできないか。合わせてWCS（※注⑤）用の稲の対策について伺う。

【町長】担い手（後継者）を育てる

にはどうすれば良いか、検討したい。又、WCSについても和牛の振興と合わせて対策を検討したい。

用語解説

WCS（注⑤）

稲発酵粗資料（ホールクロップサイレイジ、以下WCS）とは、稲の実と茎葉を同時に収穫し発酵させた牛の資料です。WCSの利用は、水田の有効活用や食料自給率向上に貢献する、と関心を集めています。（農林水産省ホームページより）



次回定例会のご案内



12月定例会のようす

定例会会期日程、一般質問通告一覧を町ホームページに掲載（※定例会開会日の概ね1週間前）しておりますので、ご覧ください。

傍聴席へ
どうぞ!!

次の定例会は、
3月4日(月)開会予定です。

宮崎県美郷町

検索

傍聴は先着順となります。また、傍聴席には限りがありますので、団体が傍聴される場合は、事前にご連絡ください。

お問い合わせは議会事務局へ（電話66-3607）



養護老人ホームはどうなっているの？ (総務厚生常任委員会所管事務調査)

10月23日(火)総務厚生常任委員会所管事務調査

清翠園の老朽化が今後の大きな課題



養護老人ホーム清翠園の現地調査を行いました。現地では清翠園の開園後の経緯や、施設の状況について説明を受けました。

ポイント！

- ①昭和45年に開園し、昭和59年に全面改築しているものの、改築後34年経過。年次的に改善・改修が行われている状況。
- ②入所者は満床の50名という状況であり、待機者も50名となっている。

用語解説

- 養護老人ホーム:介護の必要性に関係なく、心身・環境・経済的に在宅で生活することが困難な65歳以上の高齢者が対象。
- 特別養護老人ホーム:常時介護を必要とする高齢者が対象

- 施設全体の根本的な対応が求められる。
- 入所者が安心して生活が送れる環境整備や事業運営に支障がないよう、将来を見据えた職員の確保が必要。

権利擁護事業の対策を



ポイント！

- ①本町は65歳以上の人口が49.9%、75歳以上の人口が29.9%と県内でもトップ。
- ②現在34名の方が権利擁護事業を利用。

●権利擁護とは
認知症や知的障害、精神障害のため判断能力が不十分な方の権利を守り、生活を支援する制度

- 不動産や預貯金などを管理する場合もあることから、事故の起こらないよう、又担当職員が不利益を被らないようにすべき。



住民の声に耳を傾けます！ (議会広報広聴特別委員会 広聴部会)

10月23日(火)商工会理事との意見交換会

10月23日(火)西郷商工会で商工会理事との意見交換会を行いました。広聴部会では様々な団体や住民の方々と意見交換を行い、地域の課題に取り組んでいきます。

会が出された主な意見

- プレミアム商品券に関して、美郷町内に限定せず町外の人にも商品券を購入してもらい、消費が伸びる方法を考えてみては。
- 担い手不足があるが、商工業の担い手支援はほぼない。若い者がいない。業界自体そういう状態である。
- チャンスがあるふるさと納税に対して、取り組みが遅い。田舎ならではの商品充実を。



美郷町の発展に商工業振興は不可欠



富井裕瑞広聴部会長



読んでいただける広報紙づくりを目指します！ (議会広報広聴特別委員会 広報部会)

12月14日(金)広報モニターとの意見交換会

12月14日(金)役場委員会室で議会広報モニターとの意見交換を行いました。まずは住民に手にとってもらえる議会だよりを目指します。

会で出された主な意見

- 一般質問答弁で感想を加えたら、人柄が出て読むとっかかりになるのでは。
- 議員のひと言コーナーは評判が良い。
- 一般質問の答弁のその後に関心がある。
- 表紙に町民が載るとよんでもらえるのでは。



園田義彦広報部会長



広報部会

↑左から那須委員、園田広報部会長、黒田委員、中嶋委員、甲斐議長(オブザーバー)、山本委員



魅力ある議会だよりを目指して！

議員のひと言コーナー

正月の一コマ

園田義彦 議員



私の家族は7名です。人口減少が続く中ささやかな抵抗として6年前に二男夫婦と孫が宮崎から渡川に移り住んでくれました。嬉しさもありますが、それ以上にこの地域も、美郷町も10年後、20年後にはどうなっているのだろうかという不安の方が大きいような気がしております。次世代そして、又次の世代と美郷町を担っていく人材が帰ってきたいと思えるような地域づくりや生活基盤づくりが、益々必要不可欠であると思います。

似顔絵

山田恭一郎 議員



社会福祉協議会北郷事業所の葬儀事業の手伝いをして、10数年になります。年間30軒程のご家族のご葬儀を、十数人のメンバーで、仕事の都合がつくものが集まって、お世話させていただいています。人は等しく永い眠りにつくことになります。人は愛に包まれて生まれ、安心して育ち学ぶことができ、安心して暮らせ、そして安心して亡くなっていくことが、一番の幸せだと思い始めました。議会の発言の中に「安心の思い」を込めたいと思います。

全寿会にて

川村嘉彦 議員



私の座右の銘は全力投球です。「何事にも全力を尽くす」これが私の信条です。

2019年は環太平洋連携協定(TPP)により、農産物の自由貿易が始まります。将来的には農産物、工業品の95%超えの品目が関税撤廃となります。今後どのくらいの影響が出るのか、また国の対策を見定める必要があると思います。

美郷町でも色々と課題がたくさんありますが、一歩でも前に進めるよう行政と一体となり美郷町発展のため全力を注いで参りたいと思います。

議会トピックス

ドローン研修会



10月23日(火)西郷で「ドローン研修会」を町と議会の共同主催で行いました。

ドローンは、商業のみならず農林業の分野でも活躍が期待できることから、今回の研修会を開催しました。

当日は資格取得や費用についての説明を受け、実際にドローンの操縦を見学しました。

北郷から参加した農業を営む日高伸吾さんは「今後、農業でドローンを活かしたら」と話していました。

議会改革とは何か



11月26日(月)日向市役所で日向市・東臼杵郡議員研修会が行われました。当日は「これからの議会・議員の役割と議会活性化」と題して、同志社大学大学院の新川達郎教授による講演がありました。

なぜ今、議会改革が必要なのか、どういった議会が望まれているのかを学びました。

国道388号(門川町～椎葉村間)の整備促進を提言しました



10月30日(火)、国土交通省九州地方整備局へ、国道388号整備促進期成同盟会で国道388号の整備促進提言を行いました。

改良が進んでいる部分があるものの、依然として未改良区間も残っていることから、地域の実情説明と提言を行いました。

今後の早期改良が望まれます。

イルミネーションで町を元気に!



12月7日(金)、美郷町ひかり輝く冬ほたる事業のイルミネーション点灯式が行われ、議会からも点灯式に参加しました。これは同名実行委員会が商工会や地域の活性化にと毎年行っているもので、商店街約500mを約6万球の色鮮やかなイルミネーションが彩りました。

編集後記

町民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我々議会も、新しいメンバーになり、一巡が過ぎました。新しい議員さんもようやく慣れてきたようです。

現在、議会では、皆様方への情報提供や効率化、議員の資質向上を目指し、議会改革を進めております。が、一朝一夕になしえるものではありません。一歩ずつ進んでいきます。

今回の議会だよりでも、新しい取り組みを始めております。ぜひ、ご一読いただき、また感想などを届けていただければと存じます。開かれた、皆様に親しまれる議会を目指し、今後も取り組んでまいります。

末筆ながら、本年が皆様にとりまして、輝かしい年でありますようにお祈りいたします。

黒田 仁志

(編集)
美郷町議会
広報広聴特別委員会広報部会

部会長……園田 義彦
副部会長……中嶋奈良雄
委員……山本 文男
黒田 仁志
那須 富重

|| ご意見をお寄せください ||